

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	16310	電話	042(769)8332
担当部課名	総務部	職員	課	職員研修室
事務事業名	交流派遣研修費（派遣職員宿泊費）			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	彩りのある市民文化を創造します	事業開始年度
基本施策名	第3節	文化的視点に立った行政の推進	14年度
施策名	第1施策	文化的視点に立った行政の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

地方公務員法第39条、相模原市職員研修規程

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)
市民サービスの向上や効率的な市政運営のため、相模原市職員を国等へ派遣し、相互理解を深めるとともに、職員に知識を習得させ、視野の拡大や資質の向上を図る。		相模原市職員
		対象数 9
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
国等を勤務先とする派遣職員に対し、特別な事情により、深夜勤務が続き、通常の交通手段では帰宅が困難な場合、職員の健康管理のため宿泊費の助成を行なった。 ・対象人数 9名（内、東京都 区外在住 5名、区内在住 4名） ・利用人数 3名（東京都区外在住のみ） ・宿泊日数 21泊 ・助成額 7,000円（助成額を越えた場合は自己負担）		
(4)個別計画の概要		概要
計画名	職員研修計画	「相模原市チャレンジ&アクションプラン」を基本とし、地方分権の時代を担う職員一人ひとりに求められる様々な能力の開発・向上をめざし、職員研修を積極的に進め職員の資質向上を図る。
計画年次	年度～	年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	利用率	東京都区外在住の利用者数 / 東京都区外在住者数 × 100	健康管理ができれば、研修効果も高くなる。			60	100	100
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額			145	350	350
	人員・時間数			3人・21泊	50泊	50泊
	人件費			308	34	34
	その他経費			0	0	0
	合計	0	0	453	384	384
	特定財源			0	0	0
	対象数			9	9	9
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	50.3	42.7	42.7

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	緊急な場合のみ、利用しているためと考えられる。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市民サービスの向上や効率的市政運営のため、職員に知識の習得や視野の拡大を目的とした派遣研修は必要であり、長期研修中の健康管理は重要と考える。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	本事業は、職員の研修効果を高めるには有効と考える。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 業務への反映度も高く、本事業の費用対効果は高ものとする。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	派遣先による対象者の設定及び限度額以上の受益者負担は適切と考える。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 派遣職員の必要性の中での向上はあるもの と考える。	手段	対象数及び今後の利用状況により削減は可能と考える。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		他自治体に類似事業は無いため、比較できない。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 地方分権の時代にあつて、また、中核市への移行により、一層の市民サービスの向上が求められており、職員一人ひとりがさらに高度な知識を持つとともに、視野の拡大や資質の向上が求められている。そのためには、国等への派遣は継続して実施し、職員の健康管理に係る本事業についても必要と考える。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--